

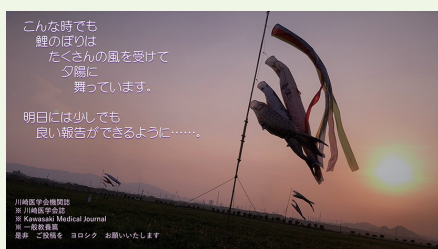


radio Camnetに続くマガジン版
雲心月性

大槻ワールドへ
ようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は川崎医科大学の中の川崎医学会の運営委員長で ‘(2021 年 3 月で任期を終えました)’ デジタルサイネージに機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。Ms. Keiko C の描いたイラスト、Ms. Saori T の絵手紙と僕の写真です。2020 年の 5 月と 6 月のスライドを紹介します。



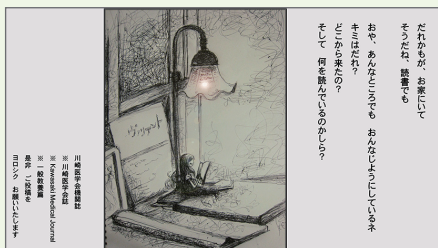
鯉幟が夕陽に舞って～明日が今日より、少しでもいい日であれば。



春には、花々が良く似合います。チューリップも満開で、気持ちが浮き立ちます。



実は黄色い薔薇は、亡き父が大好きだった花でした。



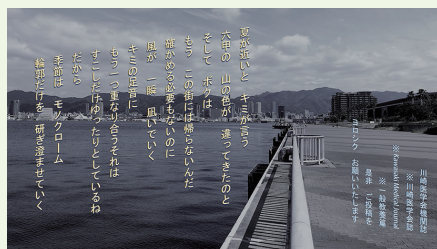
それでもまだまだ外出を自粛して、籠りながら読書に勤しむなども、それはそれで楽しい時間です。



時代がどうであっても、紫陽花は綺麗な色
合いで咲き誇ってくれています。



雨の日にも、お地蔵様は笑顔です。2020
年はつらい日々でしたが、2021年は？



そして、モノトーンな海岸線で、ボクはもう戻ってこないキミを思い浮かべます。夏の輝きの前に～季節までモノクロームで。



そして、ジューンブライドも気持ちが浮き立ってふわふわします。病める時も健やかなる時も・・・二人は一緒です。

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*

♪ **オリジナルCD**
プレゼントします!
詳しくは
プレゼントコーナーで

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。
「春の小窓」は、大概の作詞作曲です。
サブスクなどではリリースしていませんが
……。

せますぎる窓には まぶしすぎるよ 空
うつむいた君には 春は 似合いっこない
突然のサヨナラ 信じられずに 今
ため息を集めた 白い部屋にひとりで

ここまでおいで 窓の外まで
春は 待っているから
淋しさだけの 冷えた心は
春が あたためてくれる。

そよ風のおしゃべり 優しすぎると 君
泣きそうな小指が そっとサヨナラ綴る
せますぎる窓でも 鍵をひらいて ほら
倅せの足音 すぐに聞こえ出すから

ここまでおいで 窓の外まで
春は 待っているから
淋しさだけの 冷えた心は
春が あたためてくれる。

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*

2 か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまいましたが、COVID-19 のワクチン開始、新しい生活様式の中で、少しずつ生活が彩られて行っていれば、と祈念しています。

プロフィール 大槻 剛巳
(おおつき たけみ)

新庄村国保診療所で内科医師として勤務
0歳：京都府福知山市にて生誕
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳：倉敷市に転居
15 & 18歳：NHKあなたのメロディー出演
18歳：YAMAHAポップコン全国大会（譜面の部）出場
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳：川崎医科大学卒業
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年：米国留学（医学研究）
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnet CH-F（10-19）パーソナリティ担当
2021年3月、川崎医科大学衛生学教授を退官。現在に至る